

**上場制度整備懇談会**  
**第9回 議事要旨**

1. 日時：平成19年3月19日（月）午後1時から午後2時まで
2. 場所：東京証券取引所会議室
3. 議題：中間報告のとりまとめについて
4. 議事要旨
  - ・ 中間報告案の内容はよくまとまっており、基本的に問題ない。
  - ・ 上場会社だけではなく、証券会社、アナリスト、マスコミなどにも市場を構成する一員としての自覚が必要である。
  - ・ 東証の自主規制機関としての役割の重要性や自主規制部門としての取組みをもう少し強調してもよいのではないか。
  - ・ 将来もし東証が上場した場合には、他の上場会社の見本となるような行動をとることを期待する。
  - ・ 新規上場及び上場廃止の基準については、今後も実質基準を維持し続けるべきであり、証券取引所が上場適格性の観点から定性的な判断をしていくという考え方でよい。
  - ・ 今後の課題として、東証市場の国際化に伴って、外国企業のことにも視野に入れて考えていく必要がある。
  - ・ 中間報告という位置付け上、今後の検討テーマを明示すべきである。
  - ・ 中間報告では、上場制度総合整備プログラムの中からテーマを選んで議論したわけで、議論すべきことはその範囲にとどまらないため、誤解のないように、今回議論したテーマがあくまで一部であるということを示した方がよい。

以上

（なお、議事要旨については、東証上場部文責による。）

－問合せ先－

株式会社東京証券取引所 上場部企画担当  
TEL：03-3666-0141（大代表）